荒尾市民病院
- Arao Municipal Hospital -

市民を愛する　市民に愛される　病院へ

地域医療連携だより

小岱

第28号（平成26年10月発行）

〒864-0041　熊本県荒尾市荒尾2600
荒尾市民病院　相談支援センター　地域医療連携室
TEL　0968-63-1115（代表）（内線536）
FAX　0968-62-4543
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.hospital.arao.kumamoto.jp/
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　bsn@hospital.arao.kumamoto.jp

新　任　医　師　の　紹　介

平成26年7月1日付採用　循環器内科部長
小野　敬道（おの　たかみち）

救急医療功労者知事表彰について

救急科部長　松園幸雅　医師が救急医療功労者として熊本県知事表彰を授与されました
表彰の様子と感想をご紹介いたします

平成26年度救急医療功労者知事表彰にあたり

救急医療はひとりの力で出来るものではなく 市民病院スタッフ全員の努力があって表彰されたものと思っております。

関係者の皆様に御礼申し上げます。

さらなる救急医療・地域医療の充実発展に向けて努力する所存です。

医　師　退　職　者

平成26年6月30日付退職	循環器内科医長	末田　大輔
平成26年9月30日付退職	外科診療部長	浅山　縁
	内科診療部長	毛利　友彦

大変お世話になりました

お知らせいたします
荒尾市民病院は
平成２６年１０月１日より
回復期リハビリテーション病棟を開設しました

荒尾市民病院では平成26年10月1日から、回復期リハビリテーション病棟（北病棟2階：40床）を新設しました。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者さんに対し、自宅復帰を目的としたリハビリを集中的に行っていく専門病棟です。

病棟では、移動・食事・排泄などの日常生活を中心としたリハビリを行い、安定した退院後の生活や社会参加を支援いたします。

担当するスタッフは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士等で一つの医療チームを構成し対応いたします。

開放型病床ご利用のご案内

荒尾市民病院は、医療法に定められた地域医療支援病院の行うべき事項の一つである開放型病床（共同利用のための専用の病床）を１０床準備しております。

かかりつけ医（登録が必要）からご紹介いただいた患者さんが本院に入院する場合本院の医師と、かかりつけ医（登録が必要）が共同で患者さんの診療にあたることができる開放型病床の利用をご案内しております。

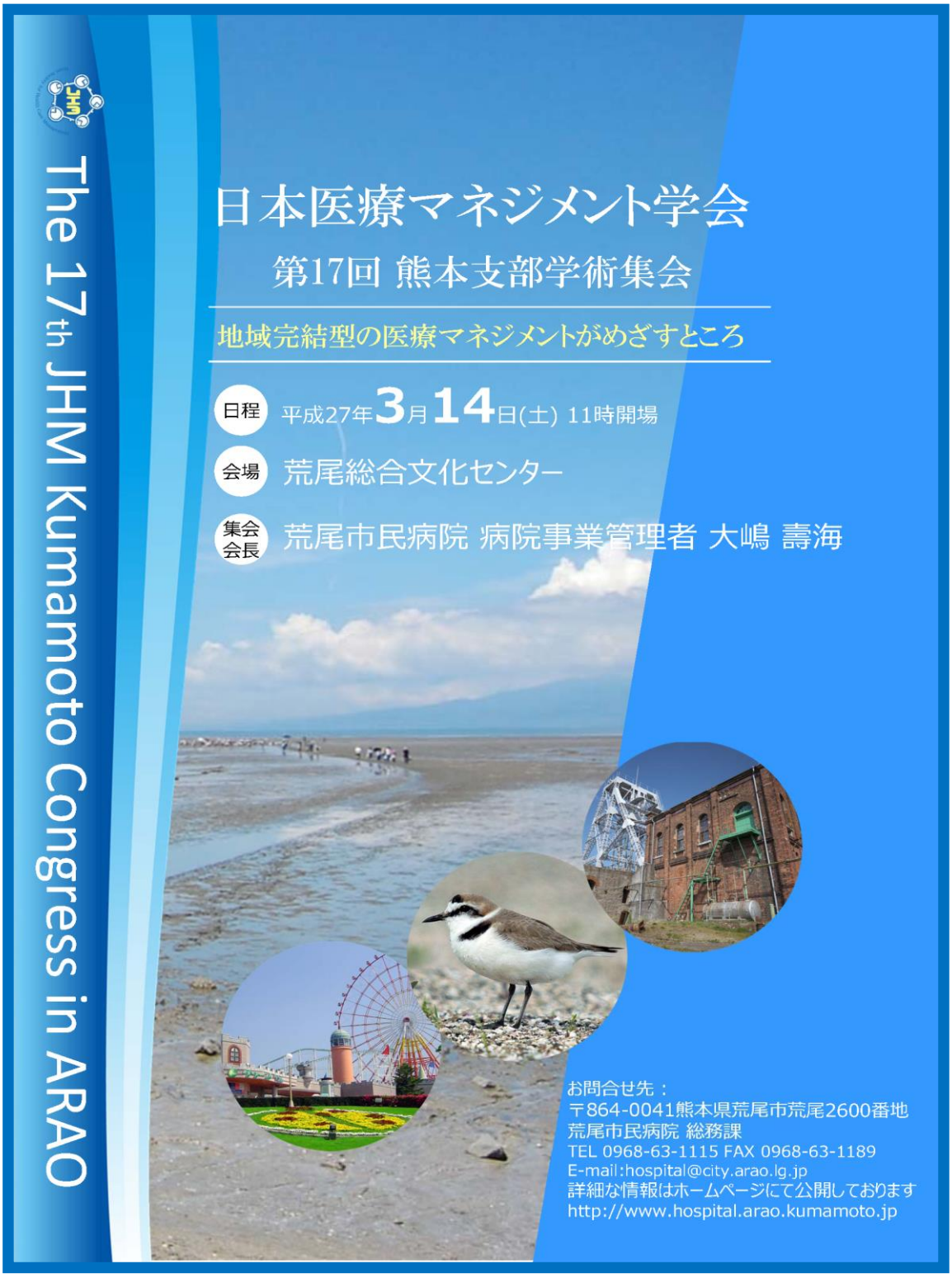
開放型病床を利用されることで、かかりつけ医の先生は患者さんの入院時の経過も把握でき、退院後の治療においても効果的であると言われています。

地域の先生方のご利用をお待ちいたしております。まだ登録がお済みでなければ、ぜひこの機会にご登録をいただきますようお願い申し上げます。詳しくは相談支援センターあてお問い合わせください。

なお、患者さんが本院入院中に、かかりつけ医が本院を訪問して診療を行った場合には一部負担金が発生するため患者さんの事前同意が必要です。

「日本医療マネジメント学会」のお知らせ
県北地域の担当では、はじめての開催です

HPの開設、演題募集を開始しました。皆様のご参加並びに演題のご応募をお待ちしております。応募の内容はクリパス、チーム医療、連携全般、医療安全、業務改善等の口述、ポスター発表となります。
例年多数の看護、コメディカルスタッフの演題がエントリーされています。このほか、特別講演、シンポジウムも予定いたしておりますので、お誘い合わせのうえご参加ください。
詳細は今後ご案内いたします。



緩和ケア研修会を開催いたしました

　平成26年9月6日（土）、9月7日（日）の両日、荒尾総合文化センターにおいて「平成26年度荒尾市民病院緩和ケア研修会」を開催いたしました。
　熊本県内6名のファシリテーターの先生方のご協力を得て、32名の受講者（医師11名、医師以外の従事者21名）が無事研修を終了されました。
　来年度も開催の予定ですぜひご参加ください。
　この研修を修了すると、医師の方には「厚生労働省健康局長」から、医師以外の方には「熊本県健康福祉部長」から修了証書が授与されます。
　緩和ケア研修会の目的は、すべてのがん患者に携わる医師などが研修により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標として掲げられています。

編　集　後　記

秋の気配が次第に色濃くなり「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」とみなさまはいかがお過ごしでしょうか
ちなみに、私は食欲が増すばかりの日々を送っています。
相談支援センターでは地域住民の皆様が安心して医療を受けることができるよう地域連携を進て参りますので今後ともよろしくお願いいたします

相談支援センター　　山下

《病院理念》

荒尾市民病院は地域住民の健康の維持増進に努め、患者中心の安全で質の高い医療の提供を目指します。

《基本方針》

1. 地域の信頼に応える急性期医療を目指し、最善の医療を提供します。
2. 地域連携を進め、地域完結型医療を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、温かい心を持った医療人を育成します。
4. 効率的な経営管理を基本とし、健全な経営を目指します

《患者様の権利》

・あなたは、あなたの病気について必要な医療を受けることができます。
・あなたは、医療の内容について十分な説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択することができます。
・あなたは、医療の内容についてご自分の希望を申し出る事ができます。